

年齢別・ 接種ポイントのまとめ



日本脳炎の予防接種

予防接種は、ワクチンなどを接種して免疫力を付け、病気にかかることを予防するためのものです。接種にはそれぞれ、より効果的に病気が防げるように、対象年齢が定められていますので、計画的に接種を受けましょう。

乳幼児期に受ける定期予防接種（法律で定められた予防接種）の案内は、生後1〜2カ月の間に郵送しています。

生後3カ月〜1歳

BCG

BCGは結核を予防するためのワクチンです。対象年齢が生後6カ月までと期間が短いので、まず始めにBCGから受けることをお勧めします。重症な副反応を防ぐためには、生後3カ月を過ぎてからが望ましいです。

○次の接種：27日以上空ける

三種混合1期初回

三種混合は百日せき・ジフテリア

ア・破傷風を予防するためのワクチンです。中でも百日せきは、乳児がかかりやすく、重くなりやすい病気です。かかると、この予防接種は受けられなくなります。

1期は初回3回と追加1回に分けて行われ、初回3回は3〜8週間の間隔で接種します。

○次の接種：6日以上空ける

ポリオ(1回目)

次はポリオ(小児マヒ)の予防接種です。2回接種を受けるので、1回目をこのころ受けるとういでしょう。市で集団接種を行っていただきますので、会場と日程は予防接種の案内に同封した予定表や「わが家の健康づくりカレンダー」『広報なりた』などで確認してください。

○次の接種：27日以上空ける(ポリオ2回目は6週間以上)

1歳〜2歳

麻しん風しん混合1期

平成18年度から、混合ワクチン

を1期と2期で2回接種する方法になりました。

1歳を過ぎたら早めに受けてください。

○次の接種：27日以上空ける

ポリオ(2回目)

1回目との間隔は6週間以上空けてください。

○次の接種：27日以上空ける

2〜3歳

三種混合1期追加

初回3回目終了後6カ月以上空けて(標準は1年から1年半の間隔で)接種します。

○次の接種：6日以上空ける

5〜6歳(小学校就学前年度)

麻しん風しん混合2期

来年就学予定の人(平成13年4月2日〜14年4月1日生まれ)が対象です。

○次の接種：27日以上空ける

現在、日本脳炎ワクチンの定期予防接種はお勧めしていません(重症な副反応を起こす恐れがあるため)。流行地へ渡航する場合など、感染する恐れが高く、本人またはその保護者が希望する場合のみ接種しています。再開時期は未定です。通常どおり接種を行うようになったときは「広報なりた」でお知らせします。

そのほかの注意事項

- 子どもの予防接種には、保護者(親権を行う者または後見人)の同伴が必要です
- 体調を整えて受けましょう
- 接種間隔対象年齢を過ぎてしまった場合は健康増進課へ相談してください

※くわしくは健康増進課(☎27-11111)へ。

予防接種の間隔

生ワクチンを接種した後は、次の予防接種までに**27日以上**、不活性ワクチン・トキソイドを接種した後は、**6日以上**空ける必要があります。

生ワクチン=BCG、ポリオ、麻しん、風しんなど

不活性ワクチン=百日せき、日本脳炎など
トキソイド=ジフテリア、破傷風など

接種対象年齢と望ましい年齢(平成19年4月1日現在)

予防接種名	対象年齢	望ましい年齢(時期)
BCG	生後〜6カ月未満	生後3カ月〜6カ月未満
三種混合1期初回	生後3カ月〜7歳6カ月未満	生後3カ月〜1歳未満
三種混合1期追加	生後3カ月〜7歳6カ月未満	初回3回目後1年〜1年半
ポリオ	生後3カ月〜7歳6カ月未満	生後3カ月〜1歳6カ月未満
麻しん風しん1期	1歳〜2歳未満	1歳〜2歳未満
麻しん風しん2期	小学校就学前年度	小学校就学前年度